

# 藍染めサンダル共同開発

## 淡路の根岸さん 神戸の靴会社と

淡路市で、藍染め工房「AWAJI 藍 LAND project」を経営する染色家の根岸誠一さん(39)と、神戸市長田区のシューズメーカー「ラッキーベル」が共同で、鼻緒を藍染めしたサンダルを作った。7月から販売を始める。根岸さんは「オール兵庫の材料で作ったサンダルを広めていきたい」と話している。

(加藤律郎)

「地球にも人にも優しく」



鼻緒を藍染めしたサンダルを手にする根岸さん(左)と巽さん(淡路市で)

根岸さんは2013年、夫婦で大阪から淡路市に転居した。友人から藍の種を分けてもらったのを機に、借りた畑で無農薬、無化学肥料で栽培。淡路島で初めて藍による染色を始め、商品の製造販売もしている。学校で上履きに使われる鼻緒サンダルを製造販売する「ラッキーベル」の巽透さん(53)が、環境問題などを意識した取り組みがテレビで紹介された根岸さんを訪ね、サンダルの共同開発を提案。2月から本格的な開発に乗り出していた。

新しいサンダルは、同社の鼻緒サンダルをベースにし、根岸さんが播州織の綿布を使い、染めを重ねることで濃淡をつけた。様々な風合いに生地を染め、ラッキーベルに納品して鼻緒に仕上げた。鼻緒の部分を藍染めにするだけで、地場産品の一つとして一般に販売することにした。

鼻緒サンダルは、土踏まざをつくることで扁平足を防ぎ、鼻緒を足の指先で挟むことで筋力をつけるよう工夫。独自開発したソール

で姿勢の改善効果も上がったことが大学の研究でも実証され、現在は神戸市内のほか、石川、長野県の学校で採用されている。

7月1日から、AWAJI 藍 LAND projectが、ラッキーベルで試験販売し、当面は受注生産していく。価格は1足5000円(税別)。足裏に当たるソール部分の色は白、黒、ベージュ、茶の4色。鼻緒は染めの濃淡が異

なり、世界で一つしかないサンダルに仕上がっているという。

ラッキーベルの巽さんは「地球にも人にも優しい商品。サンダルの良さを知ってもらい、サポーターになってもえれば」と話している。問い合わせは、AWAJI 藍 LAND project(0799・74・0050)か、ラッキーベル(078・621・5331)。